

青森県報

号外第十二号

平成二十五年
三月十五日
(金曜日)

目次

海区漁業調整委員会

東部海区管内におけるサクラマスそ上親魚の保護の指示……………	(事務局)	一
東部海区管内におけるまき餌つりの指示……………	(同)	一
東部海区管内における底魚類のはえなわ漁業の操業の指示……………	(同)	二
西部海区管内におけるサクラマスそ上親魚の保護の指示……………	(同)	三
西部海区管内におけるまき餌つりの指示……………	(同)	三
西部海区管内(日本海沖合海域)におけるまぐる等流し網漁業の操業の指示……………	(同)	四

海区漁業調整委員会

青森県東部海区漁業調整委員会指示第四号

漁業法(昭和二十四年法律第二百六十七号)第六十七条第一項の規定により、サクラマスそ上親魚の保護を図るため、次のとおり指示する。

平成二十五年三月十五日

青森県東部海区漁業調整委員会

会長 富田由廣

一 操業の制限

1 次に掲げる海域及び期間においては、小型定置漁業、固定式さし網漁業及びは

えなわ漁業を営んではならない。ただし、青森県海面漁業調整規則第四十五条第二項で規制する漁法、区域及び期間を除く。

(一) 制限海域

- ア 下北郡東通村老部川河口付近において、次のア、イ、ウ、エの各点を順次に結んだ三直線と最大高潮時海岸線とによって囲まれた海域
 - イ 河口左岸から真方位零度千メートルの点
 - ウ 点アから真方位九十度五百七十五メートルの点
 - エ 点ウから真方位九十六度三十分五百メートルの点
 - イ 河口右岸から真方位百八十六度三十分千メートルの点
- (二) 制限期間
- 平成二十五年五月一日から同年九月三十日まで

2 次に掲げる海域及び1の(二)に掲げる期間においては、竿つり及び手つりによりサクラマスを採捕してはならない。

(一) 制限海域

- ア 下北郡東通村老部川河口付近において、次のオ、カ、キ、クの各点を順次に結んだ三直線と最大高潮時海岸線とによって囲まれた海域
- オ 河口左岸から真方位三百四十四度三十分二百七十二メートルの点
- カ 点オから真方位九十六度三十分三百五十五メートルの点
- キ 点カから真方位九十六度三十分二百五十五メートルの点
- ク 河口右岸から真方位百八十六度三十分二百五十五メートルの点

青森県東部海区漁業調整委員会指示第五号

青森県東部海区管内におけるまき餌つりについて、漁業法(昭和二十四年法律第二百六十七号)第六十七条第一項の規定により次のとおり指示する。

平成二十五年三月十五日

青森県東部海区漁業調整委員会

会長 富田由廣

一 まき餌つりの制限

次の表の禁止区域欄の区域においては、遊漁によるまき餌つりをしてはならない。

位置	禁止区域
八戸市鮫町地先	東共第5号及び東共第6号共同漁業権漁場全域
八戸市白銀町、築港街、港町、新湊及び河原木地先	東共第7号及び東共第8号共同漁業権漁場全域
八戸市市川地先	八戸市市川船溜北防波堤と南防波堤及びその両先端を結んだ線で囲まれた区域
下北郡東通村白糠地先	下北郡東通村白糠漁港物見埼先端と北防波堤先端を結んだ線で囲まれた区域
下北郡東通村小田野沢地先	下北郡東通村小田野沢漁港北防波堤・北防砂堤と南防波堤・南防砂堤及びその両先端を結んだ線で囲まれた区域
下北郡東通村野牛地先	東共第29号及び東共第30号共同漁業権漁場全域
下北郡東通村石持地先	東共第31号及び東共第32号共同漁業権漁場のうち、最大高潮時海岸線から距岸千五百メートル以内の区域
むつ市関根地先	東共第33号及び東共第34号共同漁業権漁場全域

三 遊漁者等の遵守事項
 遊漁者等が水産動植物を採捕する場合は、漁業の操業を妨げないようにしなければならぬ。

四 指示の有効期間

平成二十五年四月一日から平成二十六年三月三十一日までとする。

青森県東部海区漁業調整委員会指示第六号

青森県東部海区管内における底魚類の採捕を目的とするはえなわ漁業（底はえなわ漁業）の操業について、漁業法（昭和二十四年法律第二百六十七号）第六十七条第一項の規定により次のとおり指示する。

平成二十五年三月十五日

青森県東部海区漁業調整委員会

会長 富田 由 廣

一 操業の制限

次に掲げる海域及び期間においては、動力漁船を使用して行う底はえなわ漁業の操業をしてはならない。

ただし、青森県東部海区漁業調整委員会（以下「委員会」という。）の承認を受けた者については、この限りでない。

1 制限海域

青森県下北郡尻屋埼灯台中心点と北海道函館市恵山岬灯台中心点を結んだ直線以東の青森県東部海区管内の海域。
 ただし、次に掲げる海域を除く。

(一) 下北郡尻屋埼灯台中心点から正東の線以北の海域における同灯台中心点から半径十海里以遠の海域

(二) 下北郡尻屋埼灯台中心点から正東の線以南の青森県東部海区管内の海域の共同漁業権漁場

2 制限期間

平成二十五年四月一日から平成二十六年三月三十一日まで

二 操業の承認

底はえなわ漁業を営もうとする者は、別に定める「平成二十五年青森県東部海区底はえなわ漁業操業承認事務取扱要領」により申請し、委員会の承認を受けなければならぬ。

1 承認海域

下北郡尻屋埼灯台中心点から正東の線と上北郡六ヶ所村大字出戸と大字泊との

境の高磯岩礁に設置した標柱（基点第九号）から正東の線とよってはさまれた青森県東部海区管内の海域

2 承認期間

平成二十五年四月一日から平成二十六年三月三十一日まで

3 承認対象者

青森県内に住所を有する者であつて、次の各号のいずれかに該当する者とする。

(一) 平成二十四年度に底はえなわ漁業を操業した実績を有する者

(二) 委員会が特に認めたる者

4 承認隻数

六隻以内とする。

5 使用船舶の制限

使用船舶の総トン数は、操業の実績を有する承認船舶の総トン数を超えないこととする。

6 承認証の交付

委員会は、承認したときは、底はえなわ漁業操業承認証を交付する。

7 承認の取消

委員会は、この指示に違反したときは、承認を取り消すことができる。

三 操業者の遵守事項

1 漁具の制限

漁具の総延長は三キロメートル以内とする。

2 漁具の標識

操業中の漁具には、漁具標識を明確にするとともに、船名を明記した名札を付さなければならぬ。

3 船体の表示

承認を受けた者は、使用する船舶の船橋楼両側の見やすい場所に、定められた標識を表示しなければならない。

4 承認証の携帯

操業にあたっては、承認証を携帯しなければならない。

5 承認証の書換交付

承認証の記載事項に変更があつたときは、速やかに申請し書換交付を受けること。

6 漁獲成績の報告

承認を受けた者は、操業終了後速やかに委員会に漁獲成績を報告しなければならない。

四 試験研究等の適用除外

青森県が試験研究等をする場合には、この指示にかかわらず委員会にその内容を報告のうえ実施できるものとする。

青森県西部海区漁業調整委員会指示第四号

漁業法（昭和二十四年法律第二百六十七号）第六十七条第一項の規定により、サクラムスそ上親魚の保護を図るため、次のとおり指示する。

平成二十五年三月十五日

青森県西部海区漁業調整委員会

会 長 前 田 廣 臣

一 操業の制限

1 次に掲げる海域及び期間においては、小型定置漁業、固定式さし網漁業、はえなわ漁業及び一本釣り漁業を営んではならない。

(一) 制限海域

西津軽郡深浦町追良瀬川河口周辺のうち、次のアとエを結ぶ最大高潮時海岸線、アとイを結ぶ直線、ウとエを結ぶ直線及びアとエの間の最大高潮時海岸線より沖合百メートルの線によって囲まれた海域

ア 河口左岸から磁針方位二百十度千百メートルの点

イ 点アから磁針方位二百九十一度百メートルの点

ウ 点エから磁針方位二百八十九度百メートルの点

エ 河口右岸から磁針方位十八度五百メートルの点

(二) 制限期間

平成二十五年四月一日から同年六月三十日まで

2 1に掲げる海域及び期間においては、竿づり及び手づりにより水産動物を採捕してはならない。

青森県西部海区漁業調整委員会指示第五号

青森県西部海区管内におけるまき餌づりについて、漁業法（昭和二十四年法律第二

百六十七号)第六十七条第一項の規定により次のとおり指示する。

平成二十五年三月十五日

青森県西部海区漁業調整委員会

会 長 前 田 廣 臣

一 まき餌つりの制限

次の表の禁止区域欄の区域においては、遊漁によるまき餌つりをしてはならない。

位置	禁止区域
西津軽郡深浦町 横磯、深浦、広 戸及び追良瀬地 先	西共第7号及び西共第8号共同漁業権漁場全域
つがる市館岡、 車力地先	つがる市車力漁港北防波堤・西防波堤・西防砂堤と南護岸・ 南防砂堤及び南防砂堤の北西端と西防砂堤の西端を結んだ線 で囲まれた区域
五所川原市十三 地先	十三湖水戸中央から半径千メートル以内の区域
北津軽郡中泊町 小泊地先	次に掲げる点ア、イ、ウ、エ、オの各点を順次に結んだ線 と最大高潮時海岸線とによって囲まれた区域 点ア ライオン岩突端 点イ ライオン岩突端から真方位二百二十二度三十分六分 メートルの点 点ウ 北津軽郡中泊町大字小泊立松島に設置した標柱から 真方位二百六度三十分八分八厘の点 点エ 北津軽郡中泊町大字小泊権現崎に設置した標柱から 真方位二百六度三十分八分八厘の点 点オ 北津軽郡中泊町大字小泊権現崎に設置した標柱
東津軽郡今別町 今別、浜名地先	東津軽郡今別町今別漁港浜名地区北防波堤と浜名東護 岸・二号砂防堤及びその両先端を結んだ線と西防波堤と西 東津軽郡今別町今別漁港今別地区北防波堤と今別川河口左 岸導流堤及びその両先端を結んだ線とで囲まれた区域
東津軽郡今別町 襲月地先	東津軽郡今別町大泊と襲月の境に設置した標柱と高野崎に 設置した標柱を結ぶ線より内湾の区域
むつ市脇野沢地	次に掲げる点ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キの各点を順次に 結んだ線と最大高潮時海岸線とによって囲まれた区域 点ア 牛ノ首崎突端 点イ 牛ノ首崎突端から真方位百五十四度三十分二千八百 メートルの点 点ウ めつ市脇野沢芋田に設置した標柱から真方位二百六

先

- 点工 度三十分千九百メートルの点
- 点オ トルの点
- 点カ 貝崎突端から真方位二百四十五度三十分千九百メー
- 点キ トルの点
- 点キ から真方位二百七十七度三十分三千七百メートルの点
- 点キ めつ市脇野沢と下北郡佐井村との境に設置した標柱
- 点キ めつ市脇野沢と下北郡佐井村との境に設置した標柱

二 遊漁者等の遵守事項

遊漁者等が水産動植物を採捕する場合は、漁業の操業を妨げないようにしなければならぬ。

三 指示の有効期間

平成二十五年四月一日から平成二十六年三月三十一日までとする。

青森県西部海区漁業調整委員会指示第六号

西部海区管内(日本海沖合海域)におけるまぐる等流し網漁業の操業について、漁業法(昭和二十四年法律第二百六十七号)第六十七条第一項の規定により次のとおり指示する。

平成二十五年三月十五日

青森県西部海区漁業調整委員会

会 長 前 田 廣 臣

一 操業の禁止

青森県東津軽郡外ヶ浜町龍飛崎灯台中心点と北海道松前郡白神岬灯台中心点を結ぶ直線以西の青森県西部海区沖合海域において、マグロ、ブリ、サメ、サンマ、イワシ又はサバをとることを目的とする総トン数五トン未満の動力漁船を使用して行う流し網漁業の操業を禁止する。

二 禁止期間

平成二十五年四月一日から平成二十七年三月三十一日まで

(発行所・発行人) 青森市長島一丁目一番一号 青森県

(印刷所・販売人) 青森市第一問屋町二丁目番七七号 東奥印刷株式会社

毎週月・水・金曜日発行
定価小口一枚二付十五円一銭